

ヒノキの再造林 研究成果を発表

県森林研究所

郡上市八幡町で続けてきたヒノキの再造林プロジェクトの研究発表会が十五日、県森林研究所(美濃市曾代)で開かれた。

オンライン中継も含め、林業関係者ら百七十五人が参加。研究所の研究者や共同研究した郡上市や中部森林管理局の六人が発表した。

八幡町では二〇一〇年から、「コンテナ苗」と呼ばれる新型の苗を使った再造林が進められてきた。六人は「長期実証研究から再造林を考える」をテーマに発表。プロジェクトの概要や再造林の課題、シカの食害などについて、研究成果を披露した。発表の概要と別の研究者十人のポスター発表は、研究所のホームページで二十二日まで公開している。(秋田耕平)